

令和6年度 学校評価アンケート結果について

※アンケート結果は、肯定的な回答(そう思う、だいたいそう思う)の割合を示しています。
詳細結果は集計結果のグラフをご確認ください。

○本校重点目標達成にむけた具体的な方策別の結果と考察

(1)「学力向上に向けた授業改善」について

※()は前年度の割合

結果

- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1 子供は、基礎的な学力が身についている。 | 【94% (95%)】 |
| 2 子供は、よく聞いて伝える力(発表する力等)が育っている。 | 【89% (87%)】 |
| 3 子供は、タブレットの使い方に慣れ、活用している。 | 【92% ※今回初】 |
| 4 子供は理解が十分でない場合は先生から助言してもらっている。 | 【81% (86%)】 |
| 5 子供は、家庭学習の習慣が身についている。 | 【80% ※今回初(昨年は読書と併せて77%)】 |
| 6 子供は、読書の習慣が身についている。 | 【39% ※今回初】 |

考察

各質問事項ともに、概ね昨年度と同じ回答結果となりました。しかしながら、「読書の習慣が身についているか」については、肯定的な回答が低い数値となりました。全回答中「わからない」の回答も50%でした。週末読書や読み聞かせ、多読賞表彰、リーディングバディによる読書活動等の取り組みをさらに進めるとともに、ホームページ等を活用し情報発信・情報共有をより一層行い、保護者の皆様との連携を密にしていきます。

(2)「子供の安心・安全を守り抜くための安全管理・安全指導体制の徹底」について

※()は前年度の割合

結果

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 7 学校は感染症や熱中症等の予防、事故の防止に努めている。 | 【90% (92%)】 |
|-------------------------------|-------------|

考察

90%と昨年度とほぼ同じく、肯定的な回答が多い結果となりました。本年度は特に残暑厳しく、児童の熱中症への危険性が心配されましたが、活動中の水分補給を適宜に行う等、適切な対応を心がけました。また、感染症についても、手洗い・うがい・マスクの着用等、状況に応じて対応しました。しっかりと継続していきます。今後も安心・安全な学校運営のために、保護者・地域の方々との情報共有を図っていきます。

(3)「心豊かで思いやりのある児童の育成」について

※()は前年度の割合

結果

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| 8 子供は、思いやりの心が育っている。 | 【95% (89%)】 |
| 9 子供は、自分や友達のよさ、人とのつながりの大切さに気づいている。 | 【91% (96%)】 |
| 10 子供は、相手を思いやった正しい言葉遣いをしている。 | 【83% (87%)】 |

考察

3つの質問事項とも、回答の結果は概ね肯定的でした。特に児童に「思いやりの心が育っている」との回答が95%と多かったです。学校においては、相手意識をもった行動、言動を大切にしたい指導を心がけており、友達の思いやりのある行動を紹介する「思いやりんごカード」の取り組み等も継続しています。しかしながら、心豊かで思いやりのある児童の育成には、家庭と学校との共通認識、しっかりとした連携が欠かせません。これまでの保護者の皆様との連携を大切にしたい本校教育活動の成果であるのではないのでしょうか。

(4) 「生徒指導の充実」について

※()は前年度の割合

結果

11子供は、自分から進んで元気のよいあいさつをしている。	【82% (80%)】
12子供は、時間を意識して生活をしている。	【70% (76%)】
13子供は、学校美化に進んで取り組んでいる。	【82% (83%)】
14子供は、授業ルールを守っている。	【97% (97%)】

考察

「時間を意識して生活している」との回答結果が70%と他の質問より低く、昨年度よりもやや低い結果となりました。学校での規則正しい生活が家庭生活に十分に生かされていないようです。基本的な生活習慣について、より一層の情報発信、情報共有を図っていきます。あいさつ、学校美化ならびに授業ルールについても、よりよくなるよう指導を継続していきます。

(5) 「体力向上への工夫」について

※()は前年度の割合

結果

15子供は運動する楽しさを味わっている。	【93% (92%)】
16子供は外遊びをしている。	【84% (90%)】

考察

「外遊びをしているか」についての回答がやや昨年度より低くなっていますが、概ね肯定的な回答となりました。学校においては、多くの児童が休み時間に球技や遊具を使った外遊びをしています。また今年度も校内持久走、みんなで遊ぼう集会等の取組により、心身ともにたくましい児童の育成に努めてきました。その成果もあり、運動が楽しいと感じている児童の割合が大変高いです。今後も体力向上におけた取り組みを継続していきます。

(6) 「家庭・地域との連携」について

※()は前年度の割合

結果

17学校は、ホームページ、学年だより・保健だより等で情報発信、情報共有に努めている。	【89% (93%)】
18学校は、子供の基本的な生活習慣が身につくように家庭と連携している。	【85% (92%)】
19学校は、地域学習、外部講師の活用、出会いづくりを積極的に行っている。	【94% (90%)】
20学校は、教育活動の維持発展と、保護者と教職員の負担軽減の両立に向けて取り組んでいる。	【71% (78%)】

考察

17、18、19の3つの質問については、概ね肯定的な回答となりました。さらに取り組みを進めていきます。「教育活動の維持発展と、保護者と教職員の負担軽減の両立に向けて取り組んでいるか」については、昨年度同様、保護者の評価が低い結果となりました。「わからない」との回答が12%となってもいます。教職員の働き方や業務改善についての保護者・地域の皆様への理解を進めるとともに、学校行事、PTA活動の精選・見直し等、学校・保護者・地域が一体となって、よりよい学校教育に向けて見直しを図っていく必要があると思われます。